

各位

株式会社北洋銀行

「ほくよう農業地域活性化ファンド」を組成しました

北洋銀行、北海道二十一世紀総合研究所は、昨年11月に「ほくよう農業地域活性化ファンド」(ほくよう農業地域活性化ファンド投資事業有限責任組合)を設立しました。

本ファンドは、「農業法人に対する投資の円滑化に関する特別措置法」に基づき農林水産大臣の承認を受けた投資事業有限責任組合であり、当制度により単一の民間金融機関がファンドを設立しているのは道内では当行のみです。

このたび、本ファンドに日本政策金融公庫が加入し、総額2億円のファンドとなりました。

2014年に当制度により設立した「北洋農業応援ファンド」(北洋農業応援ファンド投資事業有限責任組合、以下「初代ファンド」)が昨年9月に新規投資期限を迎えたことから、後継ファンドとして本ファンドを設立しました。初代ファンドと同時期に農林水産大臣の承認を受け、新規投資期限を迎える投資事業有限責任組合は他にもありますが、後継ファンドとして農林水産大臣の承認を受けたファンドは、本ファンドが全国1号となります。

初代ファンドと同様、本ファンドの投資対象は道内の農業法人です。基幹産業が農業である北海道において、農業法人への支援を通じ地域の活性化を推進するため、名称に“地域活性化”という言葉を加えました。

当行では農業をフードビジネスの起点と捉え、関係機関と連携した経営支援、ビジネスマッチング等のソリューション提供により、農業を営むお客さまのサポート体制を構築してきました。2017年度からは一部の営業店に農業専担職員を配置して体制を強化し、昨年12月には当行初の上級農業経営アドバイザーが2名誕生しました。

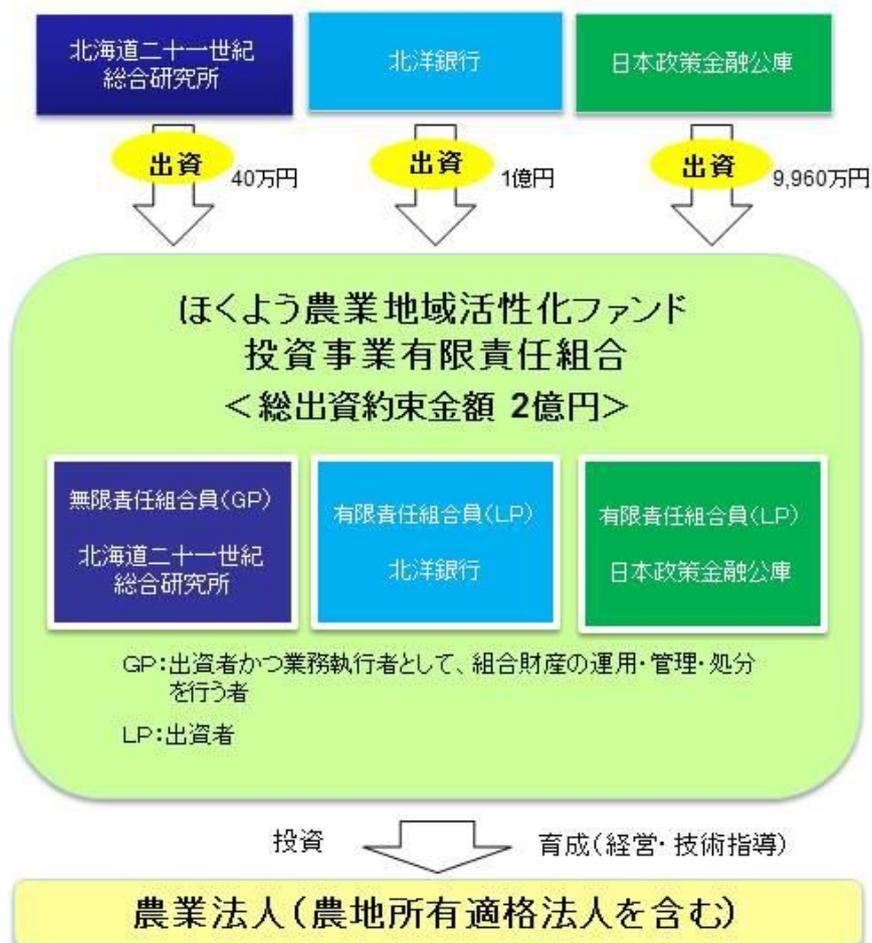
今後は、本ファンドによる資金供与のほか、農業生産者の多様なニーズに対する支援を強化し、更なる地域の活性化を推進してまいります。

【ほくよう農業地域活性化ファンドの概要】

	ほくよう農業地域活性化ファンド	備考(北洋農業応援ファンド)
ファンド設立	2019年11月29日 (2020年1月27日 日本公庫加入)	2014年9月25日 (同年10月 日本公庫加入)
無限責任組合員	株式会社北海道二十一世紀総合研究所(21総研)	同左
有限責任組合員	株式会社北洋銀行 株式会社日本政策金融公庫(日本公庫)	同左
総出資約束金額	2億円 〔21総研 40万円 北洋銀行 1億円 日本公庫 9,960万円〕	5億円 〔21総研 100万円 北洋銀行 2億5,000万円 日本公庫 2億4,900万円〕
出資対象事業者	北海道内の農業法人(農地所有適格法人を含む)	同左
ファンド存続期限	2034年11月28日	2028年12月31日

<ご参考>

■ 「ほくよう農業地域活性化ファンド」概要



以上